

会 議 録 (概要)

会議の名称	平成30年度 第2回 佐渡市地域公共交通活性化協議会
開催日時	平成30年10月22日 (月) 13時30分開会 15時30分閉会
場所	あいぽーと佐渡 1階 ホール
議題	<p>(1) 報告</p> <p>①乗合タクシー事業の進捗について</p> <p>②学生ワイドフリー定期券について</p> <p>(2) 協議</p> <p>①度津線の車両変更について</p> <p>②スクールバスの混乗事業について</p> <p>③平成30年度 補正予算(案)について</p>
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐渡市 副市長 伊藤 光 ・長岡技術科学大学大学院 教授 佐野 可寸志 ・新潟交通佐渡株式会社 代表取締役社長 大嶋 徳之 ・佐渡地区ハイヤー協会 副会長 伊藤 義彦 ・新潟交通佐渡労働組合 執行委員長 金子 秀道 ・北陸信越運輸局交通政策部 交通企画課長 井藤 太亮(代理) ・北陸信越運輸局新潟運輸支局 首席運輸企画専門官 関谷 浩 ・新潟県佐渡地域振興局 地域整備部長 鈴木 潤(代理) ・佐渡西警察署 署長 長崎 正弘(代理) ・佐渡東警察署 署長 中俣 進(代理) ・佐渡市民生委員児童委員協議会 委員 後藤 幸次郎 ・社会福祉法人佐渡市社会福祉協議会 常務理事 塚本 寿一 ・佐渡市老人クラブ連合会 顧問 計良 益夫 ・佐渡市女性団体連絡協議会 会長 中村 美登里 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐渡市産業観光部交通政策課 課長 高津 孔 ・佐渡市産業観光部交通政策課 課長補佐 石塚 義秀 ・佐渡市産業観光部交通政策課交通対策係 主任 安田 道宏 ・佐渡市産業観光部交通政策課交通対策係 主任 木下 幸一 (オブザーバー) ・佐渡市市民福祉部高齢福祉課 課長補佐 吉川 明 ・佐渡市市民福祉部高齢福祉課 地域包括ケア推進室 地 域包括ケア推進係 高野 康栄

	<ul style="list-style-type: none"> ・佐渡市産業観光部観光振興課 課長補佐 金子 明弘 ・佐渡市建設部建設課 課長補佐 高原 誠悟 ・佐渡市教育委員会学校教育課 課長補佐 伊藤 賢治 <p>(出席者数)</p> <p>委員 14 名、事務局 4 名、オブザーバー 5 名</p>
会議資料	<p>資料No. 1 乗合タクシー事業の進捗について</p> <p>資料No. 2 学生ワイドフリー定期券について</p> <p>資料No. 3 度津線の車両変更について</p> <p>資料No. 4 スクールバスの混乗事業について</p> <p>資料No. 5 平成 30 年度 補正予算 (案) について</p>
傍聴人の数	0 名
備考	報道機関 2 社

会議の概要 (発言の要旨)	
発言者	議題・発言・結果等
伊藤会長	<p>《 13 : 30 開会 》</p> <p>開会挨拶</p> <p>路線バスの車両変更やスクールバス混乗について提案があるので、委員の皆様から活発な審議をお願いしたい。</p>
事務局 安田	<p>議事</p> <p>(1) 報告</p> <p>①乗合タクシー事業の進捗について (資料No. 1 に基づき説明)</p>
関谷委員	<p>運行費用 1 便あたり 5,400 円の計算になる。決して安くない金額なので、乗車人員を増やすため周知をお願いしたい。</p>
事務局 安田	<p>周知については、該当集落へ各戸配布し、できるだけ多くの方に利用いただけるようにしたい。</p>
佐野委員	<p>この区間タクシーだと料金はいくらになるか。</p>
事務局 安田	<p>安養寺から佐渡総合病院までの直通で 2,000 円程度と聞いている。</p>
後藤委員	<p>運行区間の設定について幅広くできたと思う。運行 1 ヶ月程度を目安にアンケートを実施するとあるが、積雪後の利用状況を把握できたらよいかと思う。</p>

事務局 安田	アンケートの実施は1月中旬を考えている。 検証結果については、今後の協議会でご報告させていただく。
事務局 木下	②学生ワイドフリー定期券について (資料No.2に基づき説明)
事務局 安田	(2) 協議 ①度津線の車両変更について (資料No.3に基づき説明)
大嶋委員	(補足説明) 乗務員の不足も顕著になってきた。タクシーの運転手も使って路線の維持を図っていきたいと考えている。
佐野委員	スクールバス導入により利用者が減少と説明があったが、何年度から導入されたのか。
事務局 安田	H28年度から導入された。
佐野委員	H27からH28への利用者の減少がスクールバス導入の影響と考えていいのか。
事務局 安田	そのとおり。バスの年度とスクールバス導入の年度には、ずれがあるので正確な比較対象にはならない。
関谷委員	度津線は、以前から協議路線という理解でよいか。 利用者平均は低いが、時間帯によっては利用者が多いことも想定されるため、積み残しの心配がある。積み残しが発生した場合の対応はどのように考えるのか。 ジャンボタクシーで運行することになるが、タクシー事業者が運行するのか。
大嶋委員	交通のタクシー部が運行する。
事務局 安田	廃止代替路線全てが協議路線である。以前の消費税増税の際も運賃協議を行い、承認をもって届け出ている。
大嶋委員	積み残しについては、ジャンボタクシーには無線が付いている。羽茂高校前に羽茂営業所があり、続行便が必要になれば無線で連絡をとり、対応できるようにする。

計良委員	島内全体の生活交通の確保を考えていかなければいけない時期にきている。これから人口、利用者が減少していく中、交通の維持をどのように考えていくかが必要ではないか。
伊藤会長	<p>足の確保をこれからどのようにしていくか、委員の皆様の知恵をお借りしながら進めていきたい。</p> <p>・・・度津線の車両変更について 承認・・・</p>
事務局 安田	②スクールバスの混乗事業について (資料No.4に基づき説明)
佐野委員	生徒の自宅、学校はどのあたりにあるのか。
事務局 安田	生徒は静平に住んでいる。学校は真野小学校に通学。学校から200メートル先くらいに真野新町バス停留所がある。
佐野委員	地域住民を乗せて生徒宅へまわるのは逆戻りになったりするのではないか。遠い方から順番にまわればいいのか。
事務局 安田	学校教育課との調整の中で、生徒の登校時間に影響が出ないようにすることが必要だったため、生徒宅から学校までの通学時間に影響を及ぼさないルート設定とさせていただいた。
佐野委員	経路上、下黒山、静平以外に利用したい方はいないのか。
事務局 安田	今回の経路は、スクールバスの停留所がないので、最寄に乗車ポイントを設定させてもらう。真野新町から静平、赤泊へ抜ける路線上の方については路線バスを利用してもらう。
関谷委員	スクールバスは市の事業であり、今回の混乗事業も運賃は無料で実施する。利用者にとっては無料であることはありがたい事だと思うが、この事業が全島に広がることを考えると事業者と十分な協議が必要となるだろう。慎重に進めていただきたい。
事務局 安田	社会実験であり、まずは利用してもらいたいということから無料としている。今後スクールバスの混乗、空き時間の活用等が拡大していくことになれば料金も検討していかなければならないと考えている。

<p>関谷委員</p>	<p>将来有償運送となった場合、路線バスと競合することになるので、スクールバスと路線バスが競合しない形で運送できるように進めていっていただきたい。</p>
<p>事務局 安田</p>	<p>競合する路線については、できるだけ路線バスを優先したいという考えだが、学校教育課とも検討しながら進めていく。</p>
<p>大嶋委員</p>	<p>実験なので無料はわかるが、他地域では有償で行っているところもあるので今後検討いただきたい。 今回の実験は、路線バスと競合する部分になるが、時間帯がずれているため、利用者にとっては利便性が向上するのではないかと思う。</p>
<p>鈴木委員 (代理)</p>	<p>現在通学している生徒は何年生なのか。卒業後はこの事業が途絶えるのか。</p>
<p>事務局 安田</p>	<p>現在は小学3年生と聞いている。中学校までスクールバスは継続するのではないかと思う。ただ、生徒の数等により毎年経路や時間については変更が伴うので、必ず同じような形で事業ができるかは約束できないものである。</p>
<p>鈴木委員 (代理)</p>	<p>では、年によってはこの社会実験ができる場所が変わってしまうという理解でよいか。</p>
<p>事務局 安田</p>	<p>スクールバス混乗ということになればそうなるが、今後は空き時間の活用を検討していければと考える。</p>
<p>金子委員</p>	<p>事前予約制で市役所に電話をするというのが高齢の方にとっては使いにくいのではないか。例えば嘱託員、集落長、区長に電話してそこから市役所へ予約をする体制であれば良いのではないかと思うので検討していただきたい。</p>
<p>事務局 安田</p>	<p>利用者の近くまで車が来てくれないと高齢者は使えないという声をいただき、要望に沿う形で事前予約制を取り入れた。集落長等への予約については、必ず連絡がとれる体制が必要である。今後集落長等と協議した上で可能であれば検討していきたい。</p>
<p>中村委員</p>	<p>女性団体連絡協議会で集約した意見についてお話をさせていただきたい。 学生ワイドフリー定期券制度は大変ありがたい。中等教育学校へ</p>

	<p>行きたくても遠い、バス代が高いなどの理由があった。それが少しでも解消されることはいいことである。</p> <p>東海岸線、内海府線の路線バスで空席が目立つ。少し小さな車でもいいのではという意見もあった。</p> <p>病院へ行くのに困っている方がいる。バス停まで行けない方は、タクシー等を使い2～3人で乗り合わせていっている状況がある。バス停から遠い地域の方は、スクールバスに混乗することで病院までの足を確保できればありがたいことだと思う。</p> <p>乗合タクシーにおいても病院に行けない地域があると思うので、社会実験から少しでも早く本格運行になってもらえればと思う。</p>
事務局 安田	<p>色々と意見いただきありがとうございます。ご意見や社会実験の成果をもとに関係者と検討していきたいと思えます。</p> <p>・・・スクールバスの混乗事業について 承認・・・</p>
事務局 安田	<p>③平成30年度 補正予算（案）について （資料No.5に基づき説明）</p>
関谷委員	<p>乗合タクシーについて、当初2路線計画から1路線に変更した。補正予算（案）を見ますと当初予算そのままであるが、報告との関連はどうか。</p>
事務局 安田	<p>最終的な決算については実績になってくる。県補助との関連もあるため、調整しながら最終的には次の協議会で金額を示したいと考えている。</p> <p>・・・平成30年度 補正予算（案）について 承認・・・</p>
佐野副会長	<p>閉会挨拶</p> <p>本日は活発な議論をいただきありがとうございました。</p> <p>全体を見て地理間の公平性なども考えていかなければいけないと思いました。</p>
高津事務局長	<p>《 11 : 30 閉会 》</p>